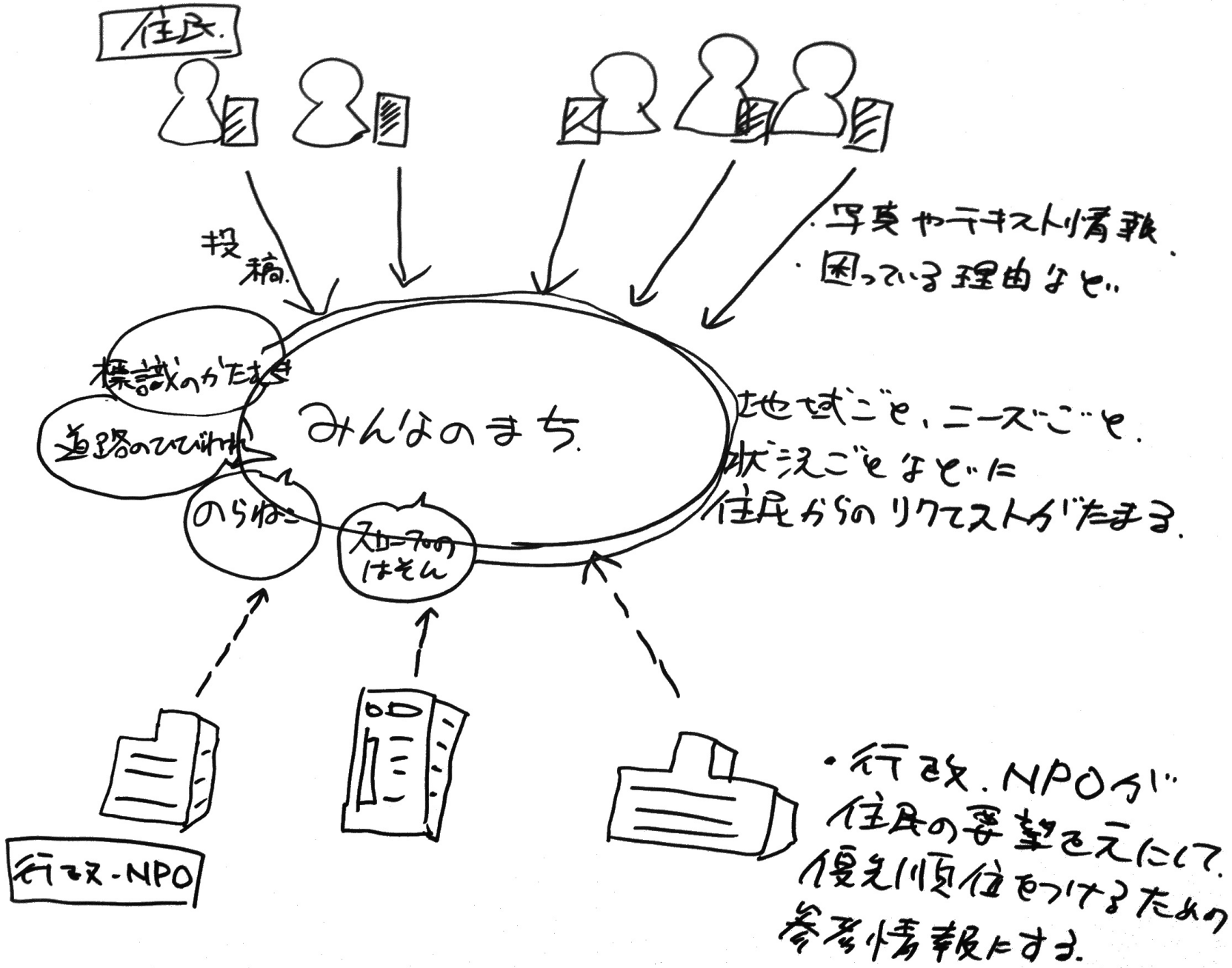
みんなのまち（仮）

安心して暮らせるまちにしたい


住民
投稿
・写真やテキスト情報
・困っている理由など
みんなのまち
地域ごと、ニーズごと、状況ごとなどに住民からのリクエストがたまる
のらねこ
スロープのはそん
行政・NPO
・行政、NPOが住民の要望を元にして優先順位をつけるための参考情報にする

「みんなのまち」 ～身近な不便や改善点をリポートする～

- ターゲット：住民（生活を送る上で震災の影響を受けた人）

  ⟶ どんなメリット（良いことが）あるか！（ゴール）

  - 安心、安全に生活できるようになる。

- 手段：街中にある日常生活を送る時、障害となるさまざまな不便や改善点をインターネットサービスに投稿してもらう。

  例）・スマートフォンや携帯電話から写真をとって気軽にアップ。

  ・Twitterを通じてつぶやき的にエントリーする

- 収集した情報コンテンツは、行政やNPOに提供されることで、住民の求めるニーズが実現してゴールに到達する。

ビジョン

身近な不便や改善点をリポートし、暮らしやすいまちにしていく

ターゲット

震災時だけでなく、長く広く使われる場にしていきたい。

アクター

- 市民
  - 報告したいひと
  - 情報をみたいひと
- 行政
  - 治す側

報告する側のユースケース

目的
安心して暮らせる街になれる
女性、子供、お年寄りに危険がない

- 街灯が切れてて、暗い！夜道が怖い！
- 道に陥没している箇所があって、水たまりが貯まる！
- 公園の柵が壊れてて危ない！

なにかにたいして気付いた時、不安に感じた時に発信するケースが一番高い

情報をみたい人

目的
自分の身の回りで「不便」なことが発生している場所はないか知りたい

- 「よくして！」ボタン早くなおしてほしいとか賛同したい
- 似たような情報を投稿したい
- 追加の情報を投稿したい

自分も同じような不安や不便を感じているときに、感じる。

まちを治すべきひと

いつ、どこで、なにが、どれくらいおきているのがしりたい。

- いつ：投稿日時
- どこで：対象地域
- なにが：「交通設備」「動物」「犯罪」など
  - 交通設備・・・水たまり、標識まがってる、街灯切れ
  - 動物・・・野良猫、野良犬、カラス
  - 犯罪・・・
- どれくらい：「よくして！」ボタン何回押されてるとか、優先度の指標になる

ながれ

- 市民：報告して
- 市民：賛同して
- 行政：認知して
- 行政：改善して
- 行政：改善結果を報告
- 市民：よろこんで、行政に対して「いいね！」と返せる
-

報告手段

- デバイス（Smartphone,Cellphone）
- 取得したい情報
  - タイトル、テキスト
  - 写真
  - 端末情報
  - 緯度経度
  - 発生日時

アイデア

- いいねボタン
- ランキング
- クックパッド
- ウェザーニュース